

# 勤務時間内開催ワークショップ形式による 感染防止対策研修の実践

## : 文殊カードの期日前配布による 小グループ討議制の導入と成果



小児科  
感染対策委員長

○大谷恭一

院長

濱崎尚文

= はじめに =

感染制御に係る研修は  
職員全員参加:原則

主体的な参加が願い。  
講義・座学の効果は…



# 勤務時間内開催ワークショップ(WS)形式による 感染防止対策研修の実践

年 度-回	主 題	設定グループでの 事前研修方式	文殊カード の活用	追加 講義
26 - 1	WS 標準予防策・他 時間外90分	—	有	有
26 - 2	MRSAを知る	有	—	有
27 - 1	WS♪自身の標準予防策を確認	—	—	—
27 - 2	感染症の理解をリフレッシュ	有	有	有
28 - 1	ノロウイルス WS♪	有	—	—
28 - 2	手指衛生5つのタイミング	有	有: 改変式	有
29 - 1	結核 WS♪	有	有: 三分割式	(有)

♪鳥取市立病院 ICNを招聘して実施 勤務時間内60分

<< 抄録集の内容を拡大して発表しました。 >>

智頭町 保健・福祉・総合センター[ほのぼの]各位  
智頭病院 職員 各位

智頭病院院内研修委員会  
智頭病院感染対策委員会  
ICT(感染制御チーム)

平成26年度 第1回

院内感染対策研修会のご案内

主 題：標準予防策・その他

← 主題は ICT が決定しました。

期 日：6月26日(木) 開始17:15[厳守]～ 18:45

会 場：ひだまりホール 保健・福祉・総合センター[ほのぼの]

表題の件について、ワークショップ(WS)方式で実施します。

主題は「標準予防策・その他」です。

文殊カードの記入は  
全職員 = 全員参加

感染対策研修会 7/26(木)17:15～ 厳守！  
[文殊カード]本票に1つの課題等を記入  
<参加者は当日会場に持参のこと>

参加者は、日頃感じ、気づいていることを、文殊カード1枚に1つの課題など（：疑問・課題・不満・ウヤムヤ）を記し、当日会場に持参してください。  
(無記名)

♥ 病院職員は一人5枚以上記載！

<一枚に、二つ以上の  
内容を書かないこと！>

感染対策研修会 7/26(木)17:15～ 厳守！  
[文殊カード]本票に1つの課題等を記入  
<参加者は当日会場に持参のこと>

文殊カード

A6サイズ  
(A4の紙を4分割)

期 日：6月26日(木) 開始17:15[厳守] ~ 18:45

今回(初回)のみ、時間外に1時間半を確保  
病院の理解・支援があり、勤務扱い

表題の件について、ワークショップ(WS)方式で実施します。

所属長は、参加者を決定し、  
ICT - WS担当# 宛に、13日までにお届けください。

(#:看護部は小谷聡子まで、  
技術局・[ほのぼの]は事務局:薬剤科 新居、医局は大谷)

なお、[ほのぼの]福祉課、心和苑などは17日まででもOKです。

事前に ICTが、26日当日のチーム(人数・所属)を決めます。

## ◆ 当日の流れ(概要)

**全員が揃うのを待たずに開始!**

1)参加者は、所属テーブルに座し、**持参した文殊カード**をグループ内で時計回りに一枚ずつ回し、**回覧**します。

回覧しながら**新たに気づいた問題点・課題等**を(会場に用意してある)**文殊カード**に**新たに書き加えます**。

⇒参加者の気づきなどの**共有化**を図ります。

2)**全員が揃った時点で**、  
チームリーダー:**司会者**と  
**発表者**:1・2名を決めます。

## 3)協議開始

:参加者の**気づき等**を**分類**し、  
**問題点・課題**などを**明確化**し、  
**共有化**を深めます。

4)協議するに値する内容を**選出**し、**解決策**を協議します。  
(最終決定はリーダー)

5)**模造紙**に**解決策**などを記し、  
**発表準備**をします。

6)チーム毎に**発表**します。  
発表時間:各チーム3分  
発表毎に3分程度までの**質疑**

## 7)講評・総括

グループ討議の様子

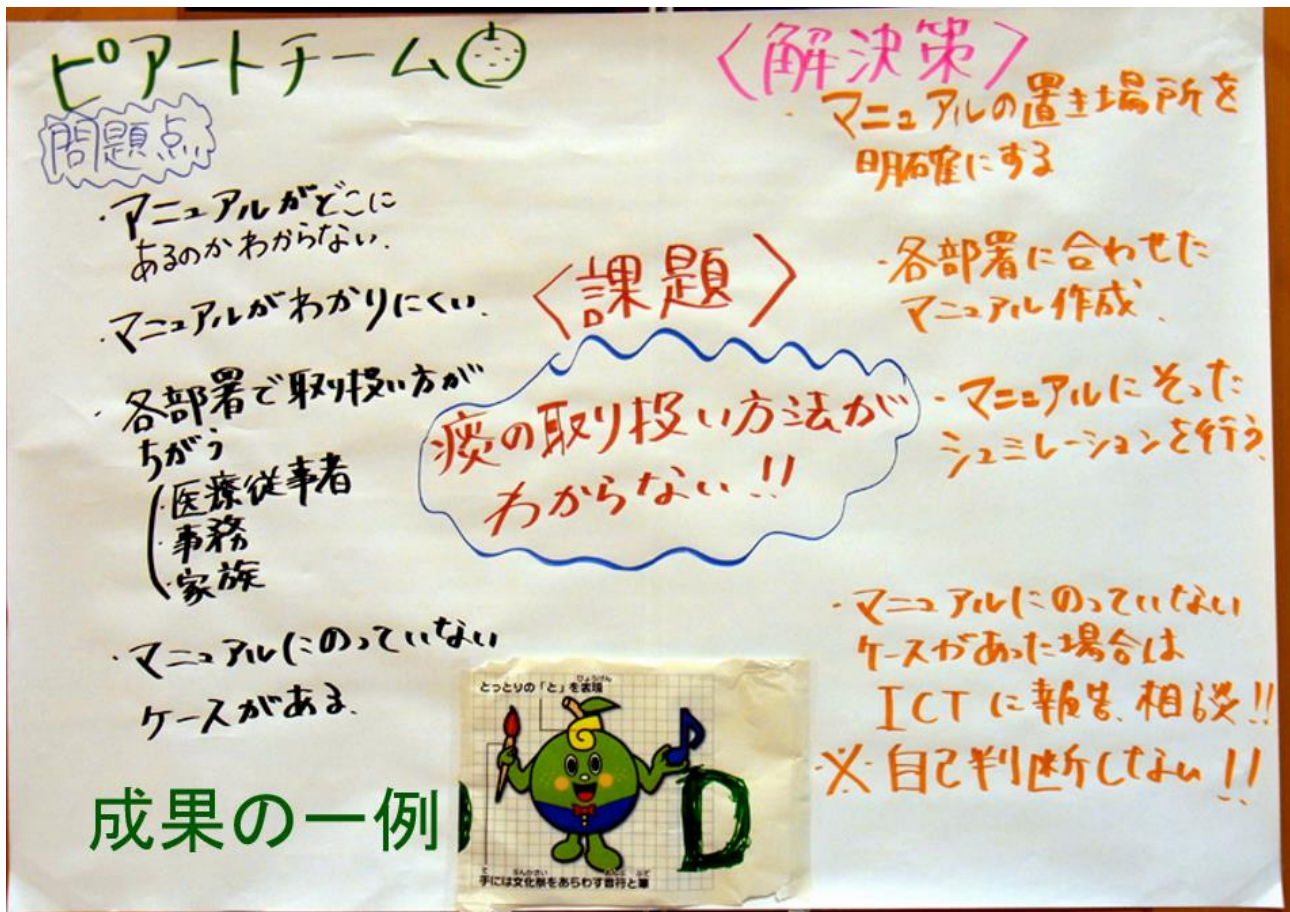


発表・質疑の様子



発表・質疑の様子





## WS「標準予防策・その他」文殊カード&成果

抜粋

### 標準予防策に係る要素

： 基本的な知識面、実地研修面、定着確認面

### 感染症の伝搬様式に係る理解

： 基本的な知識面、伝搬防御に係る技術研修面、定着確認面

### 医療環境の清浄化・非汚染〔感染源の除去〕

： 物品の取り扱い、個人の技術、環境特異性

### マニュアルの不徹底：配置・活用面、

活用のし易さ(・文字が多い)、マニュアルが古い

### 病院共通マニュアルの改訂・作成

： 1枚で要素完結、図表主体、裏面に解説等、参考資料明記

### 部署・職種特異性の強い内容

： 部署・職種別マニュアル・手順の作成・改訂に係る支援

原則は、利用者ごとに、  
一処置ごとの手指消毒

## 手指衛生のタイミング (介護編)

○ 知識を深め、  
技術を高めよう！

2014/7/23  
ICT



## 勤務時間内開催ワークショップ(WS)形式による 感染防止対策研修の実践

年 度-回	主 題	設定グループでの 事前研修方式	文殊カード の活用	追加 講義
26 - 1	WS 標準予防策・他	時間外90分	—	有
26 - 2	MRSAを知る		有	—
27 - 1	WS ▶自身の標準予防策を確認		—	—
27 - 2	感染症の理解をリフレッシュ		有	有
28 - 1	ノロウイルス WS ▶		有	—
28 - 2	手指衛生5つのタイミング		有	有: 改変式
29 - 1	結核 WS ▶		有	有: 三分割式 (有)

▶ 鳥取市立病院 ICNを招聘して実施 勤務時間内60分

## 2015年度 第2回 感染症の理解をリフレッシュ

---

2015/11/25

### 院内感染制御に係る自主研修

ICC委員長 大谷恭一

所属長が2・3人のグループを組みます。

感染症の理解・感染制御に係る設問に対して、必ず、2・3人で協議し、回答をします。(全員参加です。)

回答・理解度が異なると所属長が判断した場合は、他のチームとの意見交換を行い、理解を育んでください。

必要時、ICTメンバーに声をかけてください。

以上を基に、ICC委員長が会議室(2)で講義等を行います。

### 院内感染制御に係る自主研修

2015/11/25

約3週間



2015年12月17日

### 平成27年度 第2回 研修会

---

## 感染症の理解をリフレッシュ

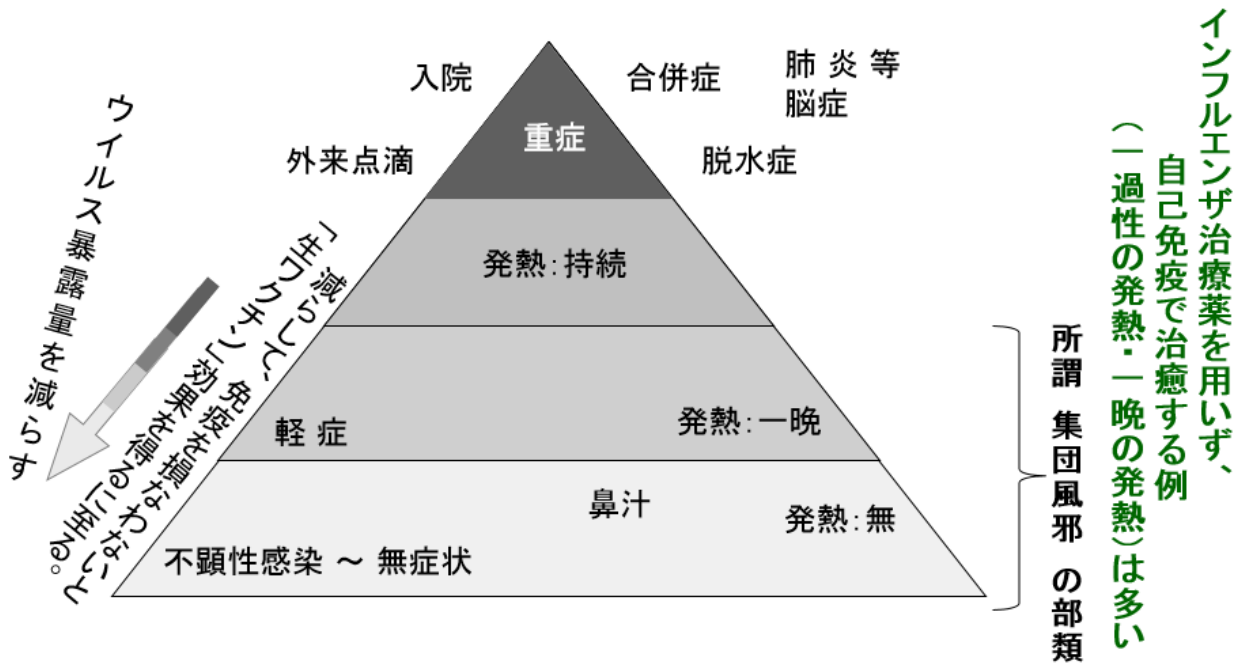
---

感染対策委員長 ・ 小児科 科長  
大谷 恭一

□: 確認・チェック欄

?  !

08  インフルエンザは、急に出現する悪寒、高熱、  
全身倦怠感、筋肉痛など、病状が重い例が多い。



### 感染症の理解をリフレッシュ

□: 確認・チェック欄

?  !

09  インフルエンザウイルスは、  
自宅の居間など生活環境でも長時間感染性を有している。

10  子どもがインフルエンザを診断された3日目に  
親が発熱したが、迅速検査 陰性で同疾患は否定された。

16  幼児がノロウイルス性胃腸炎と診断された。  
調理が仕事の親は、無症状でも出勤停止となる。

19  ロタウイルス性胃腸炎は、冬季嘔吐下痢症の  
呼称もあり、3月末には流行が収まるのが特徴的だ。

14  うがいの極意は、しっかり 'ガラガラ' とゆすいで、  
少なくとも2回以上繰り返すことにある。



幸せは  
見つめ愛  
育み合い

連載標題  
: 毎月発行

智頭町報〔広報ちづ〕を活かした啓発

智頭病院だより



今年10月号で用いる啓発用の図

バックナンバー : [ 智頭病院 広報ちづ ] 検索

## 勤務時間内開催ワークショップ(WS)形式による 感染防止対策研修の実践

年 度	回	主 題	設定グループでの 事前研修方式	文殊カード の活用	追加 講義	
26	- 1	WS 標準予防策・他	時間外90分	—	有	有
26	- 2	MRSAを知る		有	—	有
27	- 1	WS▷自身の標準予防策を確認		—	—	—
27	- 2	感染症の理解をリフレッシュ		有	有	有
28	- 1	ノロウイルス WS▷		有	—	—
28	- 2	手指衛生5つのタイミング		有	有: 改変式	有
29	- 1	結核 WS▷		有	有: 三分割式	(有)

▷鳥取市立病院 ICNを招聘して実施 勤務時間内60分

運営会議各位

## 平成28年度第2回 院内感染対策研修会 のあり方について

感染対策委員長 大谷恭一

世界保健機関 **医療における手指衛生ガイドライン**(WHO Guidelines on Hand Hygiene in Health Care)が**2009年**に発行され、「First Safety Challenge: Clean Care is Safer Care (最も安全なケアがより安全なケア)」を謳った「**清潔なケア**」を推進する中で、**Hand Hygiene with Alcohol-Based Sanitizers (アルコールベースの手指衛生剤)**や **Hand Hygiene with Running Water (流水での手指衛生の技術)**と共に、**Five Moments for Hand Hygiene in health care (医療における手指衛生の5つのタイミング)**が定着しています。

後者は「**手指衛生5つのタイミング**」として、わが国で定着しています。この理解の向上と定着の強化を図る目的で、鳥取県東部医療圏の中核病院を主体とした感染制御ネットワークと鳥取保健所が主導し、本項に係る研修を行うことになりました。

智頭病院では、グループ討議の方式を活かした方法での研修とします。

各部署長とリンクナースないしリンクスタッフは**3人**(人数により止むを得ない場合は**2人**)の**グループを設定**します。

10/3(月) /17(月) /31(月) 11/14(月)

**期間A:** 部署名・グループ参加者の氏名を記名し、「**手指衛生5つのタイミング**」の理解に係る調査票に、**グループ参加者**が(日時を調整し、顔を合わせ、**同時的に**)**協議し回答**します。

回答用紙(A)は、リンクナース・スタッフを介して、ICTが収集します。:**2週間**

**期間B:** 「**手指衛生5つのタイミング**」等の資料を**確認**する期間です。**グループ毎に協議・意見交換**も行います。:**2週間**

**期間C:** 新たに配布する回答用紙Cに部署名・グループ参加者の氏名を記名し、グループ参加者が協議し、回答します。

回答用紙Cは、リンクナース・スタッフを介して、ICTが収集します。:**2週間**

**期間D:** 必要に応じて、新たに資料提供や(他の感染症に係る話題等を含め)講義形式の研修会を(必要に応じて)開催します。

ないし、ICTメンバーを交えた部署内での協議なども実施します。



**期間A:** グループ協議・回答期間=1=

**期間B:** 提供資料確認・協議期間

**期間C:** グループ協議・回答期間=2=

**期間D:** 部署内・職種間意見交流  
・定着強化期間(継続)

### WHO「手指衛生5つのタイミング」に関連した理解

＜期間A 回答用紙＞ 提出先:ICT委員 ✕切:10月17日(月)厳守

部署[ \_\_\_\_\_ ] グループ参加氏名[ \_\_\_\_\_ , \_\_\_\_\_ , \_\_\_\_\_ ]

(※ これから約6週間、同じメンバー構成でのグループ研修を継続します。)

WHO「手指衛生5つのタイミング」または **あなたのグループ(部署・職種)で大切だと考える「手指衛生5つのタイミング」**についてお書きください。

なお、WHO「手指衛生5つのタイミング」にある内容には ◎ をつけてください。

<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>

オリジナルは  
A4版 縦 1枚  
本頁は改変分  
(□ 枠内は  
清書してください。)

上記5つ以外にも大切だと考える手指衛生のタイミングがあればお書きください。

～中略～ 以下(・裏面)は自由記載:メモ・下書き用にご自由にお使いください。

### 2016年度 第2回 院内感染対策研修会 主題に係る資料

2016/10/21

#### [出典]世界保健機関(WHO) 医療における手指衛生 ガイドライン 2009

:公式日本語訳版:原図→

医療における手指衛生の5つの瞬間



● 病室における手指衛生の5つのタイミングが図示してあります。病院では、外来部門を含め、多職種が協働して、“安全・安心”な医療を総合力で必要とする方・ご家族に提供しています。

● 医療の専門職は、本図は基本知識として熟知し、日々の業務・技術の向上に活かすこととなります。

● 介護・事務など医療の専門職でない方は、本図を知識として理解し、アナタの職務における手指衛生技術を高めることとなります。

● 本資料を基にし、各部門で確認・協議をし、各人・各職種の水準が高まることを期待します。より“安全・安心”な病院環境を育みましょう！ (ICC長記)

平成28年度第2回 院内感染対策研修会  
WHO「手指衛生5つのタイミング」  
研修の総括

@ 地域医療連携室 : 3人

- WHO「手指衛生5つのタイミング」: 室内に掲示済
  - 病棟に入った時 病室に入る前
  - 外出後、トイレ後、食事の前、調理の前など、生活習慣として
- ※面談時の感染対策、自己健康管理(咳エチケット等)が大切

@ 訪問看護ステーション : 4人

- 訪問し、バイタルサイン測定前
- 点滴、期間カニューレ等清潔捜査前
- 排泄介助、おしめ交換後
- 全ての処置が終わった後
- 訪問が終了後、車の中で

各部署ごとのまとめ: 例

@ まとめ

研修の総括

:WHO「手指衛生5つのタイミング」は、入院・入所や外来・各部門、訪問等を通じて、患者看護・支援に携わる職種は基本知識として、熟知して欲しい。

医療専門職ではない職員が関連業務を担う際にも、業務遂行の基本として承知しておいて欲しい。

自動車の運転に例える: 教則本で学ぶ段階から、仮免許証を経て、本免許を取得し、そして、運転に熟達する段階がある。運転に熟達すると、考えなくても体が反応し、安全運転をしている。

WHO「手指衛生5つのタイミング」も、同様に体で覚え、汚染を避ける・汚染を拡げない動作・業務の遂行が願いとなります。

病院の感染対策の向上を図るには、職員一人ひとりが心して知識・技術を高めることが重要です。仮に、無関心、知識の乏しさ、不適切な動作を行う職員がおれば、病院環境の汚染は拡大します。

各職種・各部門での研修の継続を願います。

独自のポスター作成・掲示は有効!

## 平成29年度 第1回 智頭病院 感染対策研修会

主題：『結核』

日時：平成29年8月29日(火) 14:30～15:30

場所：智頭町保健・医療・福祉総合センター〔ひだまりホール〕

指導：鳥取市立病院 中谷知子 ICN  
(鳥取市立病院医療安全対策室 感染管理認定看護師)

### 第1段階：3分割方式の文殊カードでの情報収集

1) 所属長は、5～8人のグループを設定します。  
人数の少ない部署は連携し、人数を確保します。  
文殊カードを管理する責任者を決めます。

2) A6版の文殊カードは縦に3分割してあります。  
別途配布します。

3) 文殊カードに「結核」に係る問題点・課題・気づき  
や疑問などを一枠に1内容を記載します。

(同じ用紙に、一人で複数枠の記入は禁止です。)

グループ内で回覧し、上段に書かれた内容を基に、  
関連する内容が想起されたら、中段に書きます。

下段にも記載があったら、完成です。

上段に記載された内容のみで、

中・下段が空白のカードも活かします。

(上・中段と全く異なる内容は、新たな文殊カードの上段に1内容を記載します。)

4) 各グループ責任者は文殊カードへの記載を促すと共に管理します。

5) 所属長は、後日通知する期日に収集し、ICT委員に渡します。

3分割文殊カード(例)

**第2段階：文殊カードに記載された内容の分類を**

ICTが実施します。

これを基に、ICTがワークショップ研修  
本番の方策を検討します。

グループの構成・課題などは、  
第2段階の成果を基にして設定し、  
事前にお知らせします。

本番当日までに、事前学習しましょう。

記載された文殊カード

#####

分割

b b b b b b b

分割

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

**第3段階：ワークショップ研修当日**

日時：8月29日（火）14:30～15:30

会場：ひだまりホール

講師・スーパーバイザー

：鳥取市立病院 中谷知子 ICN



# ワークショップ当日のグループ名も ICT が事前設定



ふるさと(智頭町)に愛着をうながす[ゆるキャラ]を採用



**= 考察 =**  
WS形式研修と  
組織開発の手法



問題点などの吐き出し  
ウヤムヤ 不満 ...

ICT活動然りで、常に  
問題点・課題を見出す!

新たな  
問題点  
などの発見

定着確認  
ICT

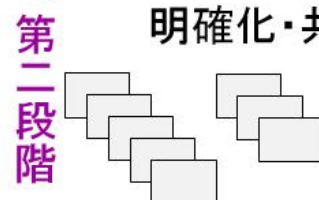


研修課題も見出せる

解決のための  
方策立案・実践



問題点などの  
明確化・共有化



希少・重要課題

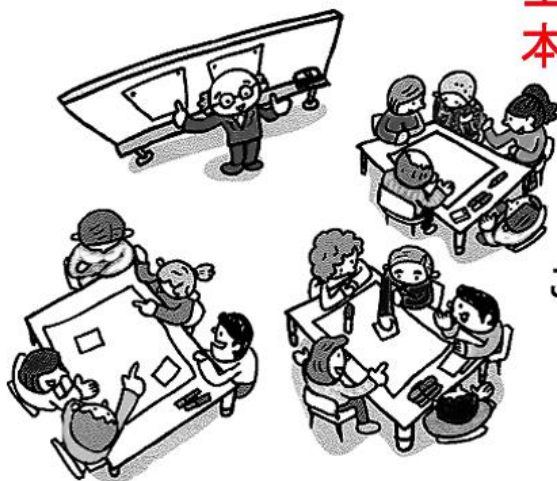
常に循環  
: 組織は  
“生き物”

## = 結語 =

勤務時間内開催ワークショップ形式による  
感染防止対策研修を实践した。

時間的制約を考慮し、文殊カードの期日前配布による  
小グループ討議制を導入した。

**全職員の主体的参加を促す上で  
本研修方式は有効である。**



ご清聴ありがとうございました。

発表の機会に恵まれたことに  
感謝いたします。

